

使用上のご注意

- 地上デジタル放送を受信するためには、一定以上の受信レベルが必要です。電波の弱い場所や周囲に電波を遮ったり、反射するような障害物のある場所などで受信レベルが低い場所では、地上デジタル放送がまったく受信できなかったり、不安定な受信状態（ブロックノイズの発生など）になることがあります。
- アンテナは電波到来方向の障害物をさけるように、できるだけ高い位置に設置してください。（ベランダに設置したときに受信できなかったり、不安定な受信状態になるときは屋根上に設置することをおすすめします。）
- アンテナを設置するとき、ネジ類はスパナなど工具を用いて、しっかりと締め付けてください。
- アンテナはいつも正しい方向に向いているようにご注意ください。
- 屋上、地上設置の場合**アンテナマストは、別売のステーワイヤを用いて3～4方向にしっかり張ってください。ステーワイヤの固定には別売りの支線止めをお使いください。
- このアンテナに多量な雪が積もった場合、受信不良がおこったり、雪の重みでアンテナが破損する恐れがあります。雪はこまめに払いおとしてください。その際、安全には十分注意してください。
- アンテナを塗装したり、シール等を貼らないでください。樹脂が劣化したり、受信不良の原因となります。
- エアコンの室外機の近くに設置すると受信不良の原因となりますので、室外機から1m以上離してください。

規格特性

品名	UHFアンテナ
品番	UAH710
受信周波数 (MHz)	470～710(ch.13～52)
偏波面	水平または垂直
インピーダンス (Ω)	75 (F形)
利得 (dB)	5.5～7.3
V S W R	2.5以下
前後比 (dB)	12～22
半値幅 (°)	44～59
耐風速 (m/s)	50 (破壊風速)
適合マスト径 (mm)	φ22～38.1
寸法 (高さ×幅×長さmm)	132×430×256 (水平偏波受信、取付マスト径φ38.1mmの場合)
質量 (kg)	1.7

仕様は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのでご了承ください。
※この製品を処分するときは、地方自治体のルールに従って処理してください。

保証書

型番	
UAH710	
ご住所・ご店名	
販売店	
電話 () -	
お名前	
ふりがな	
お客様	
ご住所	
〒 □□□□□□ 電話 () -	
お買上年月日	
年 月 日	
保証期間	
お買上日から 1 年 間	

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

カスタマーセンター

土・日・祝日もご利用ください!

DXアンテナ株式会社

0570-033-083

■ 受付時間 9:30～17:00 (夏季・年末年始休暇は除く)

■ 一部のIP電話で上記番号がご利用になれない場合: 050-3818-9016

※全国一律料金でご利用いただけます。

※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

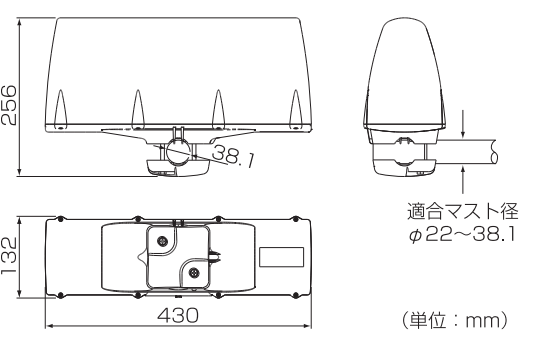
※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。

ホームページアドレス

https://www.dxantenna.co.jp/

(1908)

外形寸法図



JEITA
DH DHマーク (デジタルハイビジョン受信マーク) は、一般社団法人 電子情報技術産業協会が審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

製品に関する
お困りごとを解決!

Dサポ!
DXアンテナ サポートポータル

スマートフォンで
各種設定方法が
わかる➡



ホームページでも初期設定や、各種端末の詳しい手順を確認できます。
[1002] QRコードからアクセスしてください。

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

DIGITAL

UHFアンテナ

地上デジタル放送用 (ch.13～52)

[水平・垂直共用、出力75Ω (F形座) 仕様]

UAH710

製品の特長

- 新方式アンテナ (※1) 採用により従来のアンテナに比べて大幅な小形化と高性能化を実現 (※2)。高利得、高前後比、鋭い指向性により妨害波にも強く安定した受信が可能で、ホーム共同受信用としても使用できます。
 - 1台のアンテナでUHFのすべてのチャンネルを受信できます。
 - 小形で美観にも優れベランダ等に手軽に設置できるほか、屋根の上への取り付けも可能です。
 - アンテナ部は耐候性に優れた高品質樹脂ケースでカバーしていますので、耐久性に優れています。
- (※1) 特許取得済
(※2) JEITAのデジタルハイビジョン受信マーク制度「区分D1」に登録されました。

安全上のご注意

	△記号は注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容 (左図の場合は警告または注意) が描かれています。
	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容 (左図の場合は接触禁止) が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は注意して行なってください) が描かれています。

警告

アンテナ工事およびテレビ受信関連工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。

アンテナのケースを開けたり、分解して内部に触れないでください。感電やけがの原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店もしくは工事店にご依頼ください。

アンテナや取付装置などに登ったり、乗ったりしないでください。特にお子様のいるご家庭では注意してください。落ちたり、倒れたり、破損したりして、けがの原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナやケーブルには触れないでください。感電の原因となります。

注意

台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損したりして、けがや故障の原因となることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にご依頼ください。

アンテナや取付装置などに洗濯物や他の物品を掛けたりしないでください。倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。

《販売店・工事店様の安全上のご注意——お客様もお読みください》

警告

送配電線、ネオンサイン、電車の架線などの近くに設置しないでください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となります。また、電話線などの近くに設置しないでください。アンテナが倒れた場合、断線の原因となります。

強度の弱い場所、不安定な場所、ぐらいついたり振動する場所や傾いた場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

高所などに設置する場合は、足場と安全を確保して行なってください。落ちたり、すべったりしてけがの原因となります。

アンテナの部品や工具類を高い所から落とさないでください。けがの原因となります。

風の強い日や雨、雪、霧などの天候が悪い日は、危険ですから設置工事をしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

人や車両の通行の妨げになる場所には設置しないでください。人がぶつかったり、車両が接触してけがや破損の原因となります。

強度の弱い場所や地盤の弱い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

アンテナを煙突の付近や高温になる場所に設置しないでください。火災の原因となります。

組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力 (トルク) に指定がある場合はその力 (トルク) で締め付け、堅固に固定してください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

アンテナや取付装置のお手入れや点検は、風雨、雷、雪など天候の悪い日は、危険ですので作業を行わないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

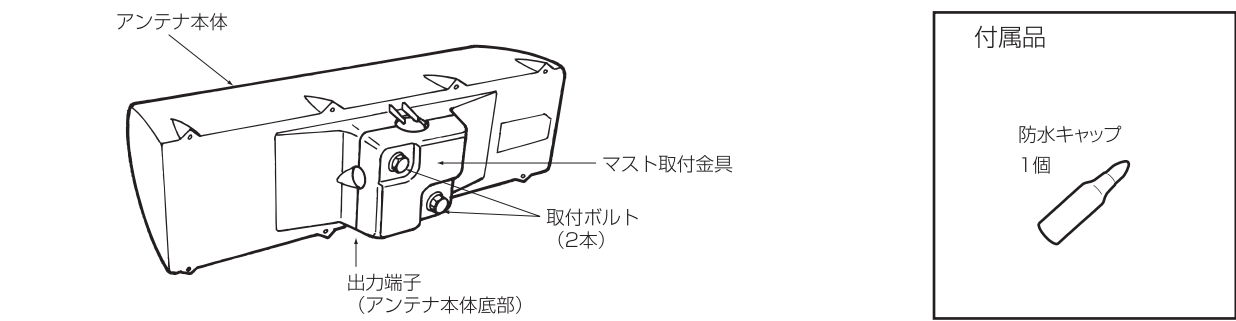
注意

マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあるところがあります。管理組合、管理事務所、自治会などに必ずご確認のうえ、取り付けてください。

お取扱いの前に

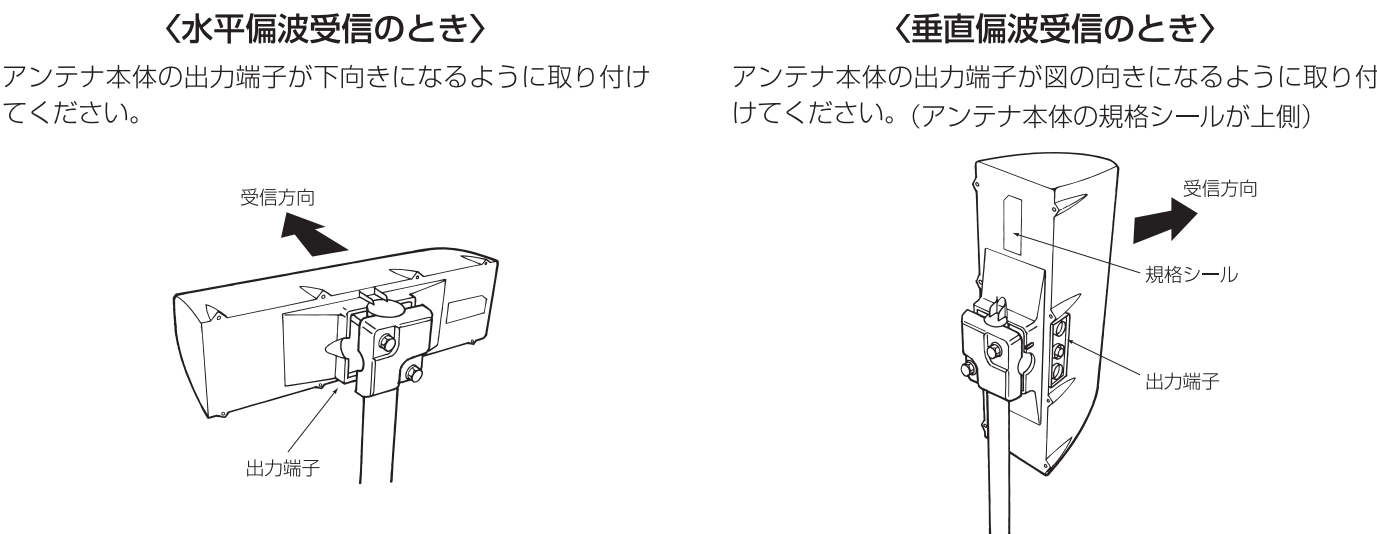
- 強風の時や、雨や雪など天候の悪いときは危険ですので、取付作業は行わないでください。
- アンテナを落したり、ぶつけたり、無理な力を加えることのないよう注意してください。
- 屋根や壁面、ベランダの手すり等に取り付ける場合、設置場所の強度に注意し、また長期にわたり台風などの強風に耐えられるように強固に固定し、落下、転倒しないよう安全性と信頼性を十分に考慮してください。

各部の名称



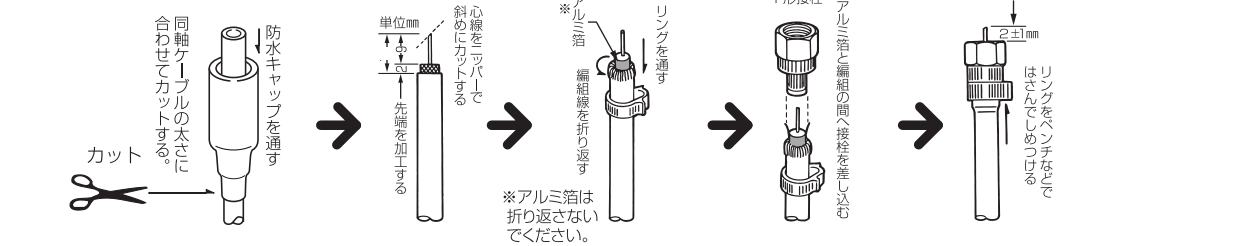
受信偏波とアンテナ取付方向

- 受信する電波の偏波面に合わせてアンテナの取付方向を下図のように変えてください。



(注) 上下を逆に取り付けた場合、アンテナ内部に雨水等が溜まり、受信不良が起こったり、アンテナが破損することがあります。

F形接栓(別売)への同軸ケーブルの加工方法(5C相当ケーブル用)

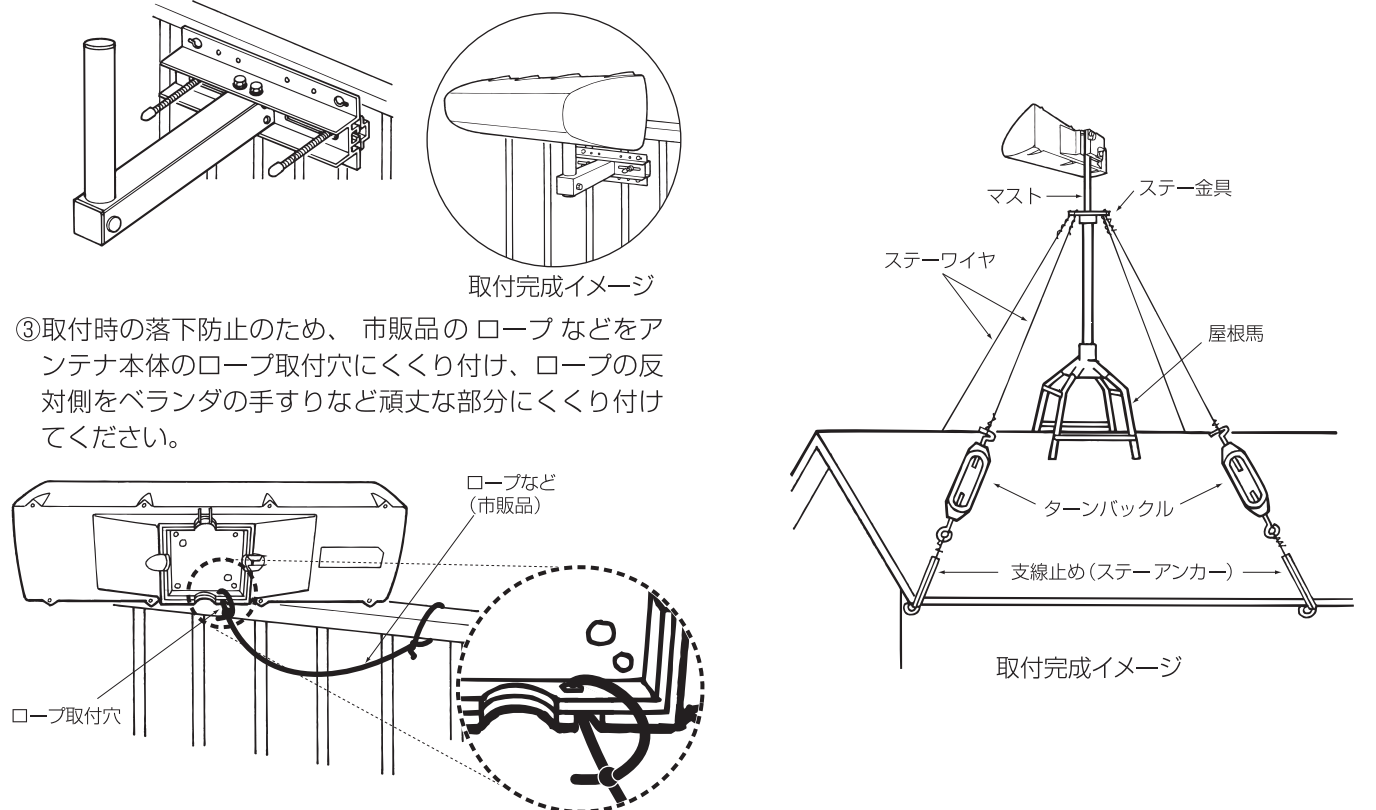


- 同軸ケーブルの先端処理をする場合、心線、編組線に傷をつけますと断線の原因となりますのでご注意ください。
- また、心線と編組線は絶対に接触しないようご注意ください。
- 電波を効率よく伝送するため、同軸ケーブルはS-5C-FBの低損失ケーブルをおすすめします。また、BS-CDXなど、他のサイズの同軸ケーブルをご使用の場合、それぞれの同軸ケーブルに適した接栓(別売)を使用し、接栓の取扱説明書に従って同軸ケーブルを加工してください。

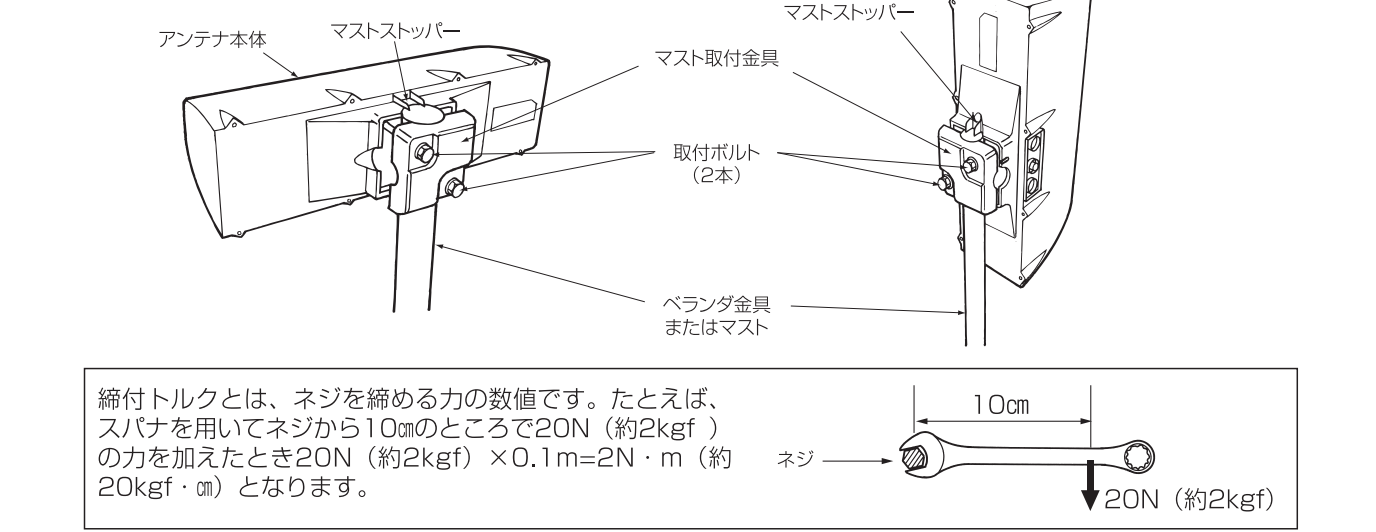
アンテナの取付方法

- このアンテナは別売のベランダ金具を使用してベランダに取り付けたり、また別売のマストや屋根馬を使用して屋根の上に取り付ける事ができます。

- <別売のベランダ金具を使用する場合>
 - ① ベランダ金具にあわせて、あらかじめ取付ボルト(2本)をゆるめておいてください。
 - ② ベランダ金具をベランダや壁面に取り付けてください。(取付方法はベランダ金具の取扱説明書をご覧ください)
 - ベランダに取り付ける場合は、マスト径がφ22～38.1mmの別売のベランダ取付金具をご使用ください。
- <屋根の上に取付ける場合>
 - 別売のマストと屋根馬を使用して、屋根の上に取り付けることができます。
 - (注) 屋根の上に取り付ける場合は、必ずステーを3～4方向に張ってください。ステーの設置には、別売のステー金具とステーワイヤ、支線止めが必要です。



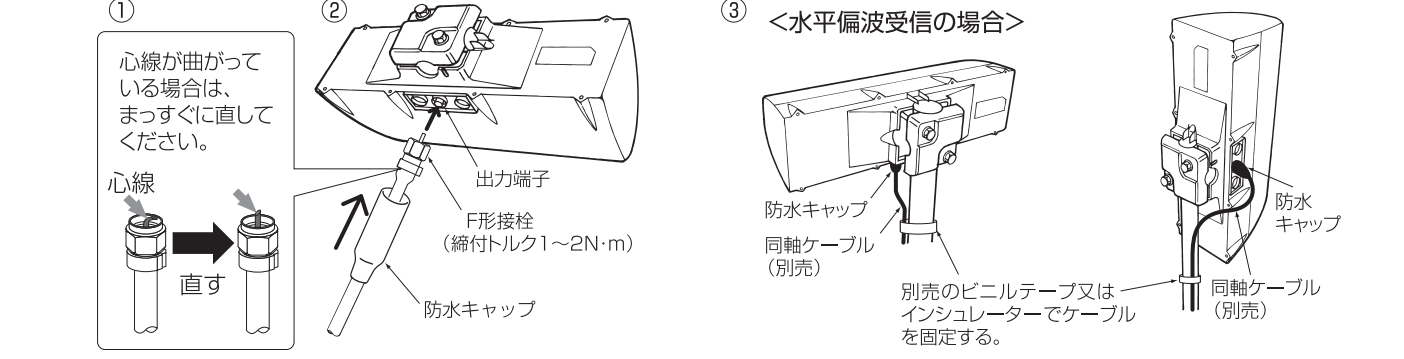
- <ベランダ金具またはマストへの取付け>
 - マストの先端がアンテナ本体のマストストッパーにあたるまで差し込み、プラスドライバー等で取付ボルトを締め付け仮固定してください。次ページの「使用例」を参考にアンテナ本体の方向を調整したあと、スパナ等で取付ボルトを締め付けてください。(締付トルク2～2.5N・m)
 - (注) 2本の取付ボルトは均等になるように締め付けてください。



- <マストの中間に取り付ける場合>
 - ① マスト取付金具のマストストッパーをニッパーなどで切り取ってください。
 - ② 取付ボルトをゆるめマスト取付金具をアンテナ本体から一度はずしてからマストに取り付けて仮固定してください。
- ③ 下の「使用例」を参考にアンテナ本体の方向を調整したあと、スパナ等で取付ボルトを締め付けてください。(締付トルク 2～2.5N・m)
- ※説明は、水平偏波受信のイラストで代表していますが、垂直偏波受信のときも同様にマストストッパーを切り取ってください。

同軸ケーブル(別売)の本体への接続方法

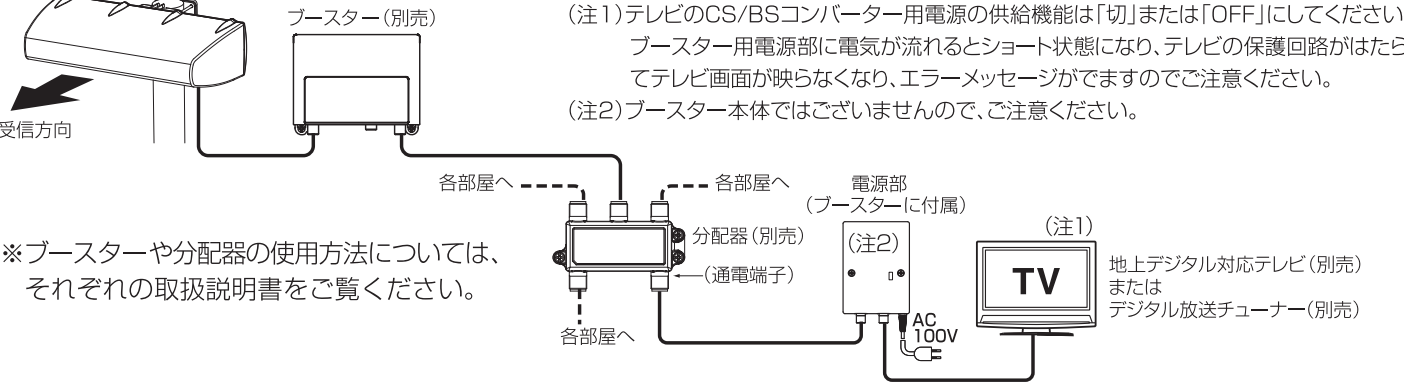
- ① 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないか確認し、曲げないように出力端子にまっすぐ接続し、防水キャップを奥まで差し込んでください。
- ② 接栓は、接続ナットを1～2N・mで締め付けてください。(2N・mを越えるトルクで締め付けると破損するおそれがあります。)
- ③ 図のようにケーブルを固定してください。



使用例

- ① アンテナ本体の出力端子と地上デジタル放送チューナーまたは地上デジタル対応テレビのアンテナ入力端子をS-4C-FB、S-5C-FB等の別売の同軸ケーブルで接続してください。
- ② 地上デジタル放送チューナー等のアンテナ設定を確認しながら、受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。(詳しくはご使用の地上デジタル放送チューナー等の取扱説明書をご覧ください。)

- ※別売のブースターや分配器を使用してホーム共同受信をすることができます。(アンテナの受信レベルが十分にあることが必要です)



- ※ブースターや分配器の使用方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。